****
★☆★☆★ メルマガ 素形材（第４２２号）★☆★☆★　　【発行日：2024 年 7 月 5 日】
****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
Ａ-1.「第１回素形材産業経営賞」募集のご案内　【締切：７月２２日】　New★
＜ご応募に関する「よくある質問・Ｑ＆Ａ」を掲載しました！！＞
Ａ-2. オンライン素形材技術セミナー「役に立つ！！鋳鉄品の品質管理と品質保証」
―品質保証の強化につながる、非破壊試験と評価の技術動向―　New★
Ａ-3. 月刊誌「素形材」2024 年 1 月号特集掲載原稿募集のご案内
～　特集タイトル、募集内容をリニューアル！～
Ａ-4. 素形材技術研修講座「鋳鋼の生産技術」
Ａ-5. 素形材技術研修講座「鋳鉄の基礎と応用」」締切迫る！！
Ａ-6.「第 62 回素形材産業優良従業員表彰」募集のご案内 【締切：８月３０日】

Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
Ｂ-1. 月刊誌「素形材」令和 6 年 6 月号（Vol.65,No.6）

Ｃ．素形材業界関連ー募集・トピックスー【●●☆●】
Ｃ-1. 第 262 回塑性加工技術セミナー「有限要素法　入門セミナー」　New★
【一般社団法人日本塑性加工学会】
Ｃ-2. 第 23 回技術セミナー「ダイカスト製造と設備に係る最新技術」のご案内　New★
【日本ダイカストマシン工業会】
Ｃ-3. 第 438 回講習会「測長の基礎から応用 -精密光計測技術」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人精密測定技術振興財団】
Ｃ-4. 「中小企業海外ビジネス人材育成塾」のご案内
【独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）】
Ｃ-5. シンポジウム「材料リサイクルに向けたアルミニウム合金鋳物の
諸特性に及ぼす微量不純物の影響」のご案内　【公益社団法人日本鋳造工学会】
Ｃ-6. 2024 年度粉末冶金講座のご案内　【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

Ｄ．素形材産業政策関連ートピックス・募集等ー【●●●☆】
Ｄ-1.　統計　【経産省】New★
Ｄ-2. 「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方 2024」 ～変革のための
生成 AI への向き合い方～ を取りまとめました　【経産省】New★
Ｄ-3. 価格交渉促進月間（2024 年 3 月）フォローアップ調査の結果を公表します
【経産省】New★
Ｄ-4. 経済産業省組織令等を改正し、経済産業省の組織を見直します　【経産省】New★

※※※

■詳細は、こちらをご覧ください。
掲載 URL ： https://www.sokeizai.or.jp/pages/140/#block735

【募集案内】
素形材センターでは、本年度、新たに「素形材産業経営賞」を設置し、募集を開始しましたので、ご案内します。
素形材企業の皆様を応援する表彰事業です。ご応募お待ちしております。

【素形材産業経営賞の概要・募集対象】
今回募集します「素形材産業経営賞」は、優れた素形材企業経営により、わが国素形材産業における先進的な取組（下記項目）を実施した企業の経営者や担当者を表彰するものです。

【表彰の対象・内容】
1. 海外展開などの新事業展開や生産性向上に向けた取組（ビジネスモデル）
2. 従業員がそれぞれの特長や経験を活かし、多様な人材が活躍できる場を提供する取組（ダイバーシティ）
3. 従業員のワークライフバランスの実現のため、柔軟な勤務形態を取り入れ、キャリアアップの促進に向けた取組（柔軟な働き方）
4. 従業員の健康を重要な経営資源と捉えて、個人の健康管理や増進により企業の業績向上に繋げる取組（健康経営）
5. 従業員の人材育成等により、企業の組織力を強化する取組（人材育成）
6. リスク及びそのリスクが及ぼす影響を把握し、事前に対策を講じることで、危機発生を回避するとともに損失を極小化する取組（リスクマネジメント）
7. その他素形材産業の発展に極めて貢献度の高い取組

【応募要領等の掲載 URL】
応募要領のほか、応募に関係する書類は当センター・ホームページに掲載しております。
下記の URL からご覧いただけます。
掲載 URL https://www.sokeizai.or.jp/pages/140/

【応募書類提出期限】
令和６年７月２２日(月)

【ご応募・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 業務部
e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp

∞∞∞

る内部の健全性など）に加えて非破壊試験による評価技術の活用が不可欠となります。
そこで本セミナーでは、各分野を熟知した講師陣が品質管理/保証の基本と、種々の非破壊試験の原理と活用方法について解説します。各講義終了後には、講師から受講生への質問も含む双方向質疑応答の時間を確保することにより、理解度をより深めていただける企画となっています。皆様の受講をぜひお勧めします！

■日時　8月29日（木）9:25～17:00　オンラインセミナー（Cisco Webexを使用）
■プログラム
コーディネーター　(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏

＜１＞品質管理・品質保証の基本的考え方
①品質保証における統計的品質管理の意義　　(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏
②工程内品質管理の項目と管理・評価の実際
元岩手大学鋳造技術センター　山田　聡　氏
＜２＞「きず」の評価基準＝鋳鉄品における破壊靭性の観点から
北海道大学　野口　徹　氏
＜３＞材質の評価（特性との関係）
①黒鉛形状と機械的性質の評価　(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏
②鋳鉄品基地組織の評価　旭川工業高等専門学校　堀川紀孝　氏
＜４＞「きず」の検出と評価
①表面「きず」　電子磁気工業(株)
②内部「きず」　・放射線透過試験（X線CT）による検出と評価
東芝ITコントロールシステム(株)　富澤雅美　氏
・超音波探傷試験（UT）による検出と評価　東芝検査ソリューションズ(株)　坂代一郎　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/2061/202406271655256149.pdf

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/110/

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部　e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞∞

■応募締切は 10 月 25 日です。
■また本特集の掲載を経由して、次年度の素形材産業技術賞へのご応募も可能です。
　素形材センターが応募書類の作成をお手伝いします。
【応募方法】
応募方法の詳細・応募用紙等は、下記をご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/detail=1/b_id=482/r_id=200/#block482-200
【お問合せ・原稿提出先】
一般財団法人素形材センター 業務部　E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

∞∞∞

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

∞∞∞

　素形材センターでは、「第 62 回素形材産業優良従業員表彰」の募集を 6 月 5 日から開始いたしました。
　毎年 11 月を素形材月間とし、素形材産業の重要性を広く社会にご理解いただき、且つ、素形材産業に携わられる素形材企業の皆様の日頃の功績を称えるとともに平素の労苦に報いるため、素形材月間事業の一環として素形材産業優良従業員表彰事業を実施しております。
　本年も、令和 6 年 11 月 1 日(金)の素形材月間記念式典におきまして、経済産業省や業界の幹部も参列して表彰式を実施する予定でおります。

●素形材産業優良従業員表彰
本賞は、技術、技能または事務処理が優秀な方で、品質・生産性向上などに貢献、あるいは勤続年数２０年以上（同一会社のみならず複数会社の場合でも可。）精勤して他の模範となっている方を表彰するものです。

●募集締切：令和６年８月３０日(金)

■詳細は以下をご確認ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/136/

※※※

■バックナンバーも含め、下記よりお申込みいただけます。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/

【申込み・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 業務部
e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp

※※※

C-3. 第 438 回講習会「測長の基礎から応用 -精密光計測技術」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人精密測定技術振興財団】

近年、私たちは生活のさまざまな場面で、小型化や高密度化、さらには素材や表面に付加価値を付与した製品に触れる機会が多くなってきました。こうした製品を構成する外部筐体や内部の光学部品、半導体部品は、製造する加工機や金型などの精密加工/精密計測技術の進化とともに発展してきました。特に非接触測定の精密光計測は、レーザ変位計や干渉を利用した形状計測、三次元形状計測において、長さ関連量を計測する手法として、科学技術やものづくりの品質向上に寄与しています。
本講習会は測長に特化し、光周波数コムを用いたトレーサビリティや幾何標準といった測長を支える技術から、レーザトラッカー技術、加工機や測定器への組み込みなど光を使った計測技術の応用まで幅広く解説いたします。参加者は、研究開発や製造現場における手法、最適な計測方法の選定など、光計測技術の実践的な知識を獲得できることと思います。多くの方々のご参加をお待ちしています。

◆日　時：2024 年 7 月 26 日（金）10:00～16:50
◆開催形式：対面およびライブ配信のハイブリッド形式
◆会　場：対面：中央大学 後楽園キャンパス 2 号館 2 階 2215 室および 2221 室
ライブ配信 URL: https://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/
◆定　員：60 名
◆申込締切：令和 6 年 7 月 19 日（木）

■詳細、申込方法：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-9954/

∞∞∞

∞∞∞

https://www.jspm.or.jp/event/20240405

※※※

∞∞∞